

< 目 次 >

- ※【 お知らせ 】 担当者について
 - 1 【 復興支援 】 子どもたちのために
 - 2 【 教育振興 】 平成 23 年度教育振興運動の推進
 - 3 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

【 お知らせ 】 担当者について

教育振興運動メールマガジン第 42 号をお届けした平成 23 年度教育振興運動担当者（小岩）は、東日本大震災津波により被災した沿岸市町村教育委員会に常駐し、継続的な支援業務にあたることとなりました。

よって、本号より、前担当者が再びメールマガジンを配信することとなりました。どうぞ、よろしく願いいたします。

1 【 復興支援 】 子どもたちのために

ひとりで生きることが 強さだと思った
支えにも気づかずに 素直になれず
同じこの空の下 育ったわたしたち
おじいちゃん おばあちゃん 大人も子どもも
手と手 つないだら 悲しみは半分に
手と手 分け合えば 喜びは倍になる
ひとりじゃないから みんなで手と手

北上市出身の歌手、清心さんの「手と手」という歌です。今、この歌詞のとおり、ふるさとのありがたさ、人の心の温かさを感じながら、同じ空の下で県民がひとつとなつて手と手をつないでいます。

東日本大震災津波から 1 カ月半がすぎ、大きな被害を受けた沿岸市町村の学校も新学期を迎えることができました。県内外より、ノート・鉛筆などの学用品から、教室で使う机や椅子まで支援の手が差し伸べられています。

先日、この学校再開にむけた学用品等の仕分け・搬入の作業に、52 名の大学生・大学職員がボランティアとして協力してくれました。皆さんは、「自分にできることであれば、少しでも役に立ちたい。」という気持ちで申し込んでくれています。

被災地を訪れてボランティアをするだけでなく、離れた地においても心はいつも被災された方々に向けられています。これまで、育まれてきた地域に根差した活動が、その輪を広げ、今、県全域を思う心となっています。

2 【教育振興】平成23年度教育振興運動の推進

各市町村においては、地域の実情に応じ、「平成23年度教育振興運動の方針」を踏まえ、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の“定着と検証の2年”の取組と全県共通課題（家庭学習の充実と読書活動の推進）の推進に取り組んでいただきたいと思います。

23年度方針⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/23kyousinhousin.pdf>

県教育委員会においては、東日本大震災津波の復興支援に全力を注ぐため、市町村担当者研修会、推進研修会、実践組織関係者研修会等、市町村の皆様が集まっていただく事業をすべて取りやめることとしました。

市町村の皆さんに集まっていただくのではなく、34市町村を訪問して、学校・家庭・地域の連携や復興支援としてできることを一緒に考えていく体制をとり、情報提供・情報共有はこのメールマガジンを中心に展開するよう現在検討を進めています。

また、昨年度同様に、教育振興運動担当として学校での家庭教育学級や市町村での研修会等において、家庭学習や読書のお話をする機会をいただけましたら、喜んで訪問させていただきます。

さらに、県教育委員会では、沿岸市町村教育委員会を訪問し、被災した子どもたちの放課後の生活を支援する事業について提案・説明を行っています。下校後、避難所や仮設住宅等に帰るまでの間、子どもたちがのびのびと遊ぶ時間や学習する時間をなんとか確保したいという趣旨です。

市町村事業として、被災した地域の方を雇用し、毎日の遊びをとおして、子どもたちの心を解放させるとともに、放課後の先生方の負担軽減を図ることを目指します。この事業を進めるにあたっては、沿岸市町村教育委員会に負担をかけないよう、県教育委員会が全面的に支援する体制を整えることとしています。事業（案）の概要⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/23kokoronokejigyou.pdf>

3 【編集後記】あつしのひとりごと

社会教育に携わるようになり、多くの地域の方にお世話になってきました。とりわけ、田野畑村教育委員会、宮古教育事務所に勤めていたことから、宮古管内の皆様には大変お世話になりました。

その宮古管内も大きな被害を受けました。お世話になった方々にお会いしたくて週末に訪れていますが、これからも定期的に訪問をしたいと考えています。

また、「絵本を避難所等に届けたいのだが、贈り先を紹介してもらえないか。」という相談を何件もいただいています。避難所のみならず、被災して図書室の本がない、また同一学校で複数学校が再開して図書が不足しているという小学校がありましたら、ご連絡をいただきたいと思います。

連絡先⇒ 盛岡市中央公民館 019-654-5366

盛岡教育事務所 019-629-6746 (担当；大森)

岩手県教育委員会生涯学習文化課 019-629-6174 (担当；佐藤敦)

また、文部科学省の「子どもの学び支援ポータルサイト」を活用しますと、絵本や児童書のみならず、様々な救援物資の提供を受けることができます。

サイト紹介⇒<http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/23poutarusaito.pdf>

先日、「みやこ防災エフエム」で、絵本の朗読をしてきました。このラジオ局では、子どもたちの心を癒したいと絵本の読み聞かせを放送しており、その読み手として依頼を受けたところです。

また、東京のNPO法人ファザーリング・ジャパンのお父さんたちが、4月30日から5月2日の間、宮古市、宮古市田老、山田町、陸前高田市で読み聞かせライブを行う予定であり、こちらのコーディネーターも務めています。

<読み聞かせライブの会場>

4月30日(土) 13:00~16:00 宮古市「グリーンピア三陸みやこ」避難所

5月1日(日) 10:00~12:00 宮古市「すくすくランド」託児室

13:30~16:00 山田町「さくら幼稚園」避難所

5月2日(月) 10:00~11:30 陸前高田市「長部保育所」

15:00~16:30 陸前高田市「高田小学校・やどかり学童クラブ」

できることを、できるときに、できる人が。子どもたちが笑い合えるように。

⇒ 第44号は、5月10日(火)配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★平成21年度配信のバックナンバー(第1~17号)はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー(第18~41号)はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★平成22年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index6.html>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

～～～